

# 県外から水俣病申請

## 関西と中京の四人

### いずれも水俣出身者

「隠れ水俣病」の掘り起こしで、認定申請者が相次いでいるが、二十二日現在、熊本、鹿児島

両県以外からも四人の申請者が出た。両県以外から申請者が出たのはこれが初めてで、県公書課でも、

隠れ水俣病の広域化に驚いている。

病状を訴えているという。

この四人は、愛知県津島市の四十二歳の女性、大阪市港区八幡屋

これら四人の申請者は、かつての水俣市住民ということで本県での審査対象者となる。

の二十歳の女性、堺市野々井の二十七歳の男性、岐阜県土岐郡笠原町の五十六歳の女性で、いずれも三十年から三十四、五年ごろまで水俣市に在住していた人たち。申請書からは具体的にどのような症状かわからないが、水俣病特有の

水俣市は近年、人口が減少、県外にもかなり流出しているところから、このような県外からの申請者が今後も出てくること予想されている。なお二十二日現在の熊本県関係申請者は百二十六人となつた。